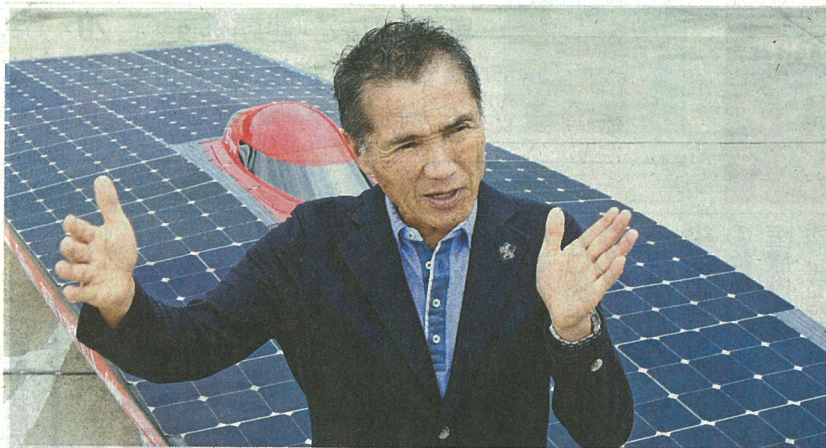


ソーラーカー世界最速を記録したラリードライバー

顔



篠塚^{しのづか}

建次郎^{けんじろう}

さん

65

「チーム篠塚」を率いてソーラーカーの最速記録に挑戦し、今年8月、オーストラリアのチームが持つ記録を約2・6^{キロ}上回る時速91・332^{キロ}を出し

た。先月、ギネス世界記録に認定された。

舞台は沖縄・宮古島市の下地島空港。全長6^{キロ}、重さ140^{キロ}の車を1時間走らせ、決められた区間での平均速度を測った。「晴れてよ

かった。おかげで汗だくでしたけどね」

太陽光パネルの発電量は、日差しによって刻々と変わる。モーターの力を最大限に引き出す微妙なアクセル操作が求められる。三菱自動車の社員ドライバーとして1980年代からパリ・ダカールラリーに参戦し、総合優勝した経験が生きた。

ソーラーカーとの出会いは2008年。同社を退社後、母校・東海大に請われ、同大のソーラーカーチームに参加した。南アフリカを4000^{キロ}走るレースで優勝。環境に負荷をかけない車の将来性を確信した。

「次世代の車のエネルギーは電気や水素。その次は太陽光」と見る。実用化は遠いが、走り続けられ可能性をアピールできる。「記録が破られたらまた挑戦します。一生走り続けたい」

撮影・奥村宗洋

(社会保障部 小山孝)